

## 第46回防衛問題セミナー 「自然災害に強い国とするために」

### 第46回防衛問題セミナーの概要

令和3年6月25日（金）、YouTube Live配信（定員500名の限定配信）により第46回防衛問題セミナーを開催しました（協力：陸上自衛隊施設学校、自衛隊茨城地方協力本部）。本セミナーは、一昨年から昨年にかけての台風・豪雨の多発による水災害に対する国民の関心の高まりを踏まえ、「自然災害に強い国とするために」をテーマとし、自然災害への備え、自衛隊の活動等について地方公共団体や地域住民の方々などに理解を深めていただくことを目的としたもので、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、平成19年度の事業開始以来初めてとなるオンラインでの開催となりました。

本セミナーは、第1部基調講演、第2部パネルディスカッションの2部構成とし、講師・パネリストとして中央大学研究開発機構 山田正教授と陸上自衛隊施設学校 山崎義浩 学校長をお招きしました。

第1部では、自然災害への備え、陸上自衛隊の活動等について、それぞれ講演いただきました。

山田教授からは「頻発する台風・豪雨災害への備え～流域治水で変える防災意識～」をテーマに、近年の豪雨災害の特色と傾向、河川洪水のメカニズムのほか、茨城県の事例を中心に線状降水帯と河川の関係性、災害発生時の住民の避難行動について、さらには、近年重視されている流域治水の考え方とその具体的な施策について、お話しいただきました。

山崎学校長からは、「陸上自衛隊の災害派遣活動と施設学校の取り組みについて」をテーマに、陸上自衛隊の即応・初動体制、施設学校が担任する茨城隊区における災害対処態勢、同校の災害派遣活動や対処能力向上のための様々な取組についてお話しいただきました。

第2部では、「自然災害に強い国とするために」をテーマに、パネリストである2人の講師によるパネルディスカッションを行いました。

山田教授からは、自治体に対してはハザードマップとともに地域の過去の被災の歴史を知ることや避難所暮らしが長期化する被災者のメンタルケアが大切、防衛省・自衛隊に対しては地域の地形や歴史に詳しい大学等の教育機関や応急復旧資材を持つ地域の建設業界と連携することが必要との提言とともに、「治水対策は関係者全員が少しずつ苦労を分かち合いながら、総力戦で臨むことが多くの人命救助につながる」、「防災も防衛もマニュアルを忠実に実施するだけでなく、柔軟な発想と臨機応変な対応が必要との視点で類似しているもの」との発言がありました。

また、山崎学校長からは、過去の災害派遣活動・指揮経験を基に、「自然災害は発生直後にすべての状況を知り得ず、地震のように前触れもないものもあることから、あらかじめ状況に応じた計画を立案の上、シミュレーションを行い、これに情報を逐次重ね合わせて計画を修正することで即応性を確保している」、「自衛隊に対する様々なニーズに対して優先順位を付けていかなければならないことに災害対応の難しさがある」等の発言があり、施設学校ほか全国の施設科部隊の道路啓開、瓦礫除去等の活動が、ライフラインの早期復旧やじ後の自衛隊の活動に大きな役割を果たしていることが明らかになりました。

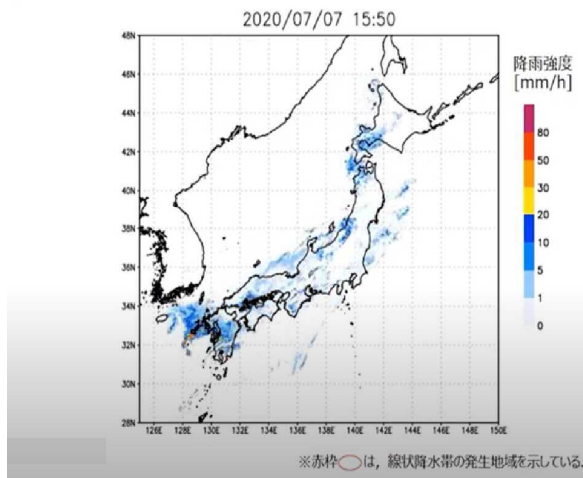
最後に、自然災害に強い国とするためには、流域治水の考え方に基づいたハード・ソフト両面からの総合的かつ多層的な対応に加え、防衛省、自衛隊を含む国・自治体・住民の間の連携や個々人の備えが必要と総括し、パネルディスカッションを締め括りました。

本セミナーは、同内容2回の配信（15時～、20時～）により、合計1,143回の再生、ピーク時で329名（申込者数538名）の視聴があったところ、視聴者からは、「治水対策・河川の歴史を知ることが防災への取り組みの第一歩と認識した」、「流域治水の考え方に関心を持った」、「陸上自衛隊の災害派遣活動と施設学校の取り組みの幅広さと迅速な対応について認識した」、「人命を守ることは単純でなく、ハードとソフト両面のベストミックスが大切だと実感できた」など、多くの感想が寄せられました。

また、視聴者からの要望を受け、7月9日（金）までの間、視聴申込者に対して期間を限定して動画のアーカイブ配信を行い、268回の視聴がありました。

## 山田 正 教授の基調講演

### 気象庁Cバンドレーダによる令和2年7月豪雨の観測降雨強度



第46回防衛問題セミナー  
～自然災害に強い国とするために～



## 山崎 義浩 学校長の基調講演

### 講演内容

- 1 陸上自衛隊の任務と災害対処態勢
- 2 陸上自衛隊の災害派遣活動状況
- 3 災害派遣に係る施設学校の取り組み
- 4 結 言

2  
第46回防衛問題セミナー  
～自然災害に強い国とするために～



## パネルディスカッション

